SONY

4-135-734-**03**(1)

FM/SW1-7/MW 9 バンドレシーバー

ICF-SW23

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

品　名	ラジオ
型　名	ICF-SW23
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。
この「安全のために」は、小型オーディオ機器全般の安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったら、すぐにお買い上げ店またはお近くのソニーサービスの窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

1 電源を切る

2 ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

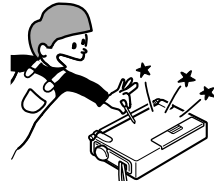
⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により大けがの原因となります。

運転中は使用しない

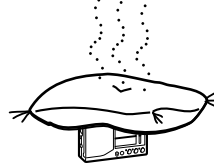
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口、お近くのソニーサービスの窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
アルカリ、マンガン

⚠危険　乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

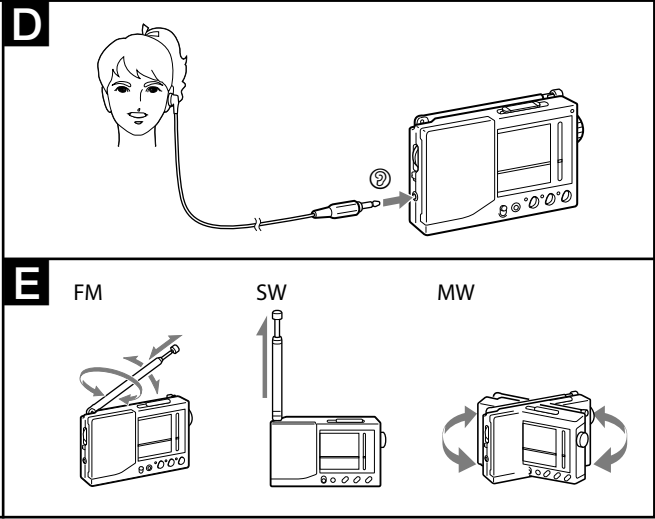
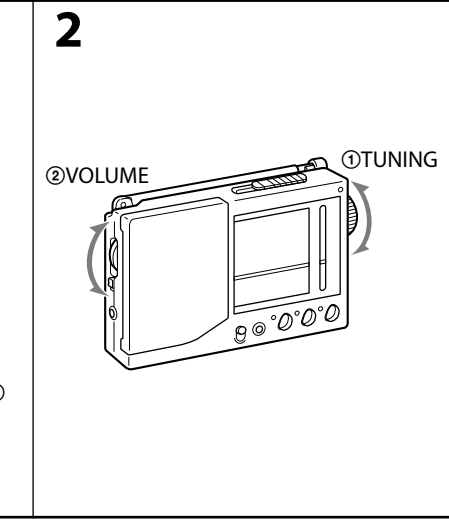
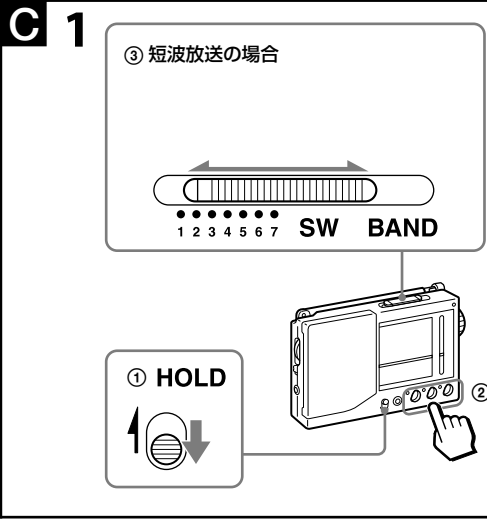
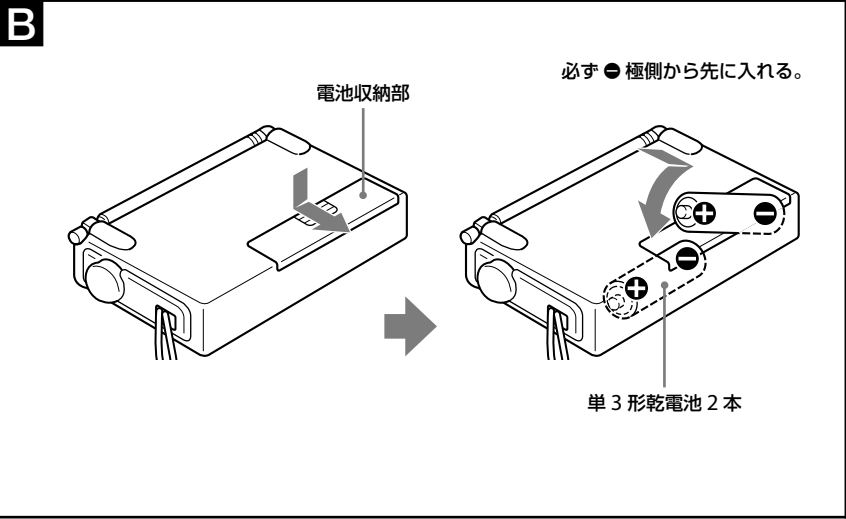
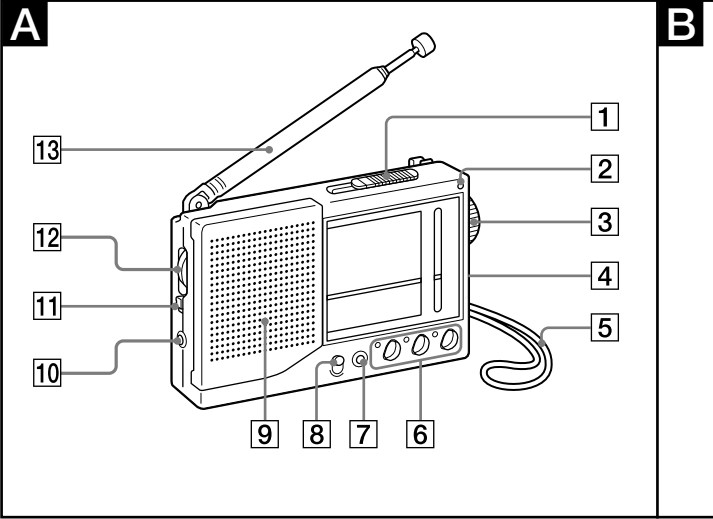
部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

主な特長

- コンパクトサイズの高性能 9 バンドレシーバー（FM/SW1-7/MW）。
- 混信やノイズを低減する、デュアルコンバージョン回路採用（SW）。
- 短波の選局が簡単なバンドスプレッド式のダイヤル目盛り。

お使いになるときのご注意

- 次のような場所には置かないでください。
  – 温度が非常に高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）。
  – 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  – 風呂場など湿気の多いところ。
  – 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多いところ。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 常に良い音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師または、ソニーサービス窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

各部の名称 (図 A 参照)

1. SW BAND（バンド）切り換えスイッチ
2. TUNE（チューン）（選局）ランプ
   放送を受信すると赤く点灯します。
3. TUNING（チューニング）（選局）つまみ
4. ダイヤル目盛り板
5. ハンドストラップ
6. バンド切り換えボタン／ランプ（FM : FM 放送 / SW : 短波放送 / MW : AM 放送（中波））
   このボタンを押すと電源が入ります。
7. OFF（オフ）（電源切り）ボタン
8. HOLD（ホールド）スイッチ
   持ち運ぶときなどに、OFF ボタンを押してからこのスイッチを矢印の方向へ上げます。誤ってバンド切り換えボタンが押されても電源が入りませんので、電源のむだな消耗が防げます。また、ラジオを聞いているときにこのスイッチを矢印の方向に上げておくと、操作ボタンが働かなくなりますので、誤操作が防げます。
9. スピーカー
10. ⓘ (イヤホン) 端子
11. TONE（トーン）（MUSIC（ミュージック）/NEWS（ニューズ））（音質）切り換えスイッチ
    MUSIC: 音楽を聞くとき
    NEWS: 音楽以外の放送（ニュース等）を聞くとき
12. VOLUME（ボリューム）（音量調節）つまみ
13. ロッドアンテナ

乾電池の入れかた（図 B 参照）

乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください

万一液漏れが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が弱くなったり、ひずんだり、またはバンド切り換えランプが暗くなったりします。
さらに消耗すると電源が切れます。その場合は、乾電池を 2 本とも新しいものと交換してください。
乾電池の持続時間については「主な仕様」をご覧ください。

ラジオを聞くには（図 C 参照）

1 ① **HOLD スイッチが上の位置になっている場合は、下の位置にします。**

② **聞きたい放送バンドを選びます（FM/SW/MW）。**
ラジオの電源が入りランプが点灯します。

③ **短波放送の場合は、周波数によって SW BAND 切り換えスイッチでメーターバンド（SW_1 - SW_7）を選びます。**

2 ① **TUNING つまみで聞きたい放送局を選びます。**

② **音量と音質を調節します。**

ラジオをとめるには、OFF ボタンを押します。

付属のイヤホンでお聞きになるときには（図 D 参照）

アンテナの調節 ー受信状態をよくするにはー（図 E 参照）

FM 放送：ロッドアンテナをのばし、受信状態が最も良くなるように長さと方向と角度を調節します。
SW 放送：ロッドアンテナをいっぱいに伸ばして垂直に立てます。
MW 放送：フェライトバーアンテナを内蔵しているため、ラジオの向きによって受信状態が変わります。ラジオの向きを変えて最もよく受信できるようにしてお聞きください。

ご注意

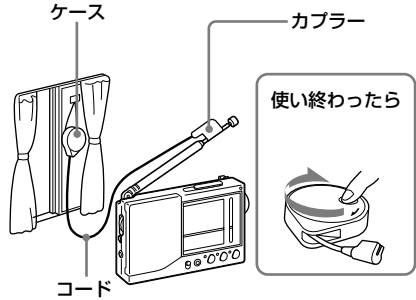
- 内部スプリアス（内蔵発振機の信号を受信すること）により、5.9033 MHz, 6.2067 MHz, 12.0025 MHz, 21.870 MHz の受信が困難な場合があります。
  － 短波放送の音が大きくなったり小さくなったりするのは －
  これはラジオの故障ではなく、フェージングという現象です。フェージングは電離層の変化で反射される電波の強さが変わったり、いろいろな経路を通って伝わってきた電波がお互いに干渉し合ったりして起こるものです。
- ラジオ本体の受信周波数表示における、NSB1、NSB2 は、それぞれラジオ NIKKEI 第 1 放送、ラジオ NIKKEI 第 2 放送を受信する周波数を示しています。

付属の SW（短波）用コンパンクトアンテナを使う

通常はロッドアンテナで SW（短波）放送を楽しむことができますが、鉄筋のビルの中などで受信状態が良くない場合は、付属の SW 用コンパクトアンテナをお使いください。

1 **コードをケースから完全に引き出す。**

2 **カプラーをロッドアンテナにはめる。**

3 **部屋の窓が開く場合 :**
危険がないことを確かめてから、コードをケースごと窓の外に出します。
窓が開かない場合 :
コードを窓の幅いっぱいに張ります。

主な仕様

受信周波数

バンド	受信周波数範囲
FM	76 MHz - 108 MHz
SW_1	3.625 MHz - 4.275 MHz （75 メーターバンド）
SW_2	5.775 MHz - 6.425 MHz （49 メーターバンド）
SW_3	9.375 MHz - 10.025 MHz （31 メーターバンド）
SW_4	11.615 MHz - 12.265 MHz（25 メーターバンド）
SW_5	15.00 MHz - 15.65 MHz （19 メーターバンド）
SW_6	17.50 MHz - 18.15 MHz （16 メーターバンド）
SW_7	21.325 MHz - 21.975 MHz（13 メーターバンド）
MW	530 kHz - 1,710 kHz

スピーカー　ø 40 mm 丸型 7.2 Ω 1 個
実用最大出力　100 mW（JEITA*）
出力端子　イヤホン端子（ミニジャック）1 個
電源　DC 3 V、単 3 形乾電池 2 本
電池持続時間　約 22 時間（JEITA）
ソニー単 3 形（R6）マンガン乾電池使用時
最大外形寸法　約 116.5 mm × 72.5 mm × 28 mm（幅／高さ／奥行き）（JEITA）
質量　約 200 g（乾電池含む）
付属品　イヤホン（1）、キャリングケース（1）、ショートウェブガイド（1）、取扱説明書・保証書（1）、ソニー単 3 形（R6）マンガン乾電池（2）、サービス窓口・ご相談窓口のご案内（1）、コンパクトアンテナ（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。